雌豚美術館

埋め込み絵画

『雌豚美術館』へようこそ。
この美術館では、生きた雌豚たちを展示しております。
入り口に最も近い展示は、壁に埋め込まれた雌豚絵画です。

ガラスの向こうの雌豚たちは、性感帯に玩具を取り付けられ、お客様のおいでをお待ちしています。

額縁の横にはスイッチが取り付けられ、玩具を自由に作動させることができます。

入
切

作品名
汁吹く女

埋め込み絵画

ブブブブ・・・

「あっ！　あっ！　イクッ・・イキますぅぅっ！！
止め・・・止めて・・・っ！　またイッちゃ・・・あぁん！」

雌豚はガラスに潮を吹きかけ、痴態を晒します。
しかし、ほとんどの場合、お客様は
スイッチを切らずにそのまま次の展示に
移動されるので、雌豚は1日中
イキ続けることも珍しくありません。
中には、失神した雌豚を見ようと、
わざわざ閉館間際に来られるお客様も
いらっしゃいます。

入
切

作品名
汁吹く女

彫像

雌豚美術館の彫像は生きています。身体に石膏を塗られた雌豚が、それぞれにポーズをとって展示されています。

雌豚たちは、決められたポーズで居続けないと、罰を与えられてしまいます。なので、身動きをしないよう必死に耐えているのです。

お客様は、彫像に触って刺激を与えることはできません。しかし、彫像たちには、それぞれに玩具が用意されていて、その責めに堪えなくてはなりません。

彫像

この彫像には、ま○こバイブマシンが取り付けられ、
開館から閉館まで、ずっとま○こを犯され続けます。
しかし、身動きをしてはいけません。

快感に堪えるその痴態が
この彫像の芸術たる所
なのです。

スイッチはリモコン式に
なっており、台の周囲に
置かれています。
お客様は、そのリモコンを
弄り、入り切り、強弱を
選択できます。

もし雌豚が失神したり、
ポーズを崩した場合、
係員を呼んでください。
係員が雌豚を拘束し直し、
同じポーズを強制的にとらせます。

そして、雌豚は、翌日にでも厳しい
罰を受けることになります。

彫像
ズプッ、ズポッ
「んんんっ！！」
ビクビクッ
「すげー汁出てんじゃん。
そんなに気持ちいいんだ？
じゃあ、次は強にしてやるよ」
「まっへ！
らめ･･らめっ！！」
ジュポジュポジュポ･･･
「んぐうぅっ！！！」
お客様がスイッチを強に
したまま立ち去られる
事が多いので、
ほとんどの彫像は
閉館までもたず、
体勢を崩してしまいます。
最近では懲罰のための
設備が足りず、増設が
計画されています。
※雌豚の懲罰については
後述いたします。
んんんっ!!
ビク
ビク
ブル
ズプッ
ズポッ
ブル

パイズリトルソー

彫像に類似する展示として、
上半身のみのトルソーがあります。
人間の肌の温かみを残すために、
石膏は塗られていません。

上半身のみのトルソーは体験型となっており、
パイズリ用となっています。
無料のローションを使い、雌豚の豊かな
胸の感触を味わうことができます。

中にはフェラチオができる
トルソーもありますが、その場合は
コンドームの使用が必要です。

トルソーにされる雌豚は特に従順な
ものを選んでいるので、嫌がったり
反抗する心配はありません。

パイズリトルソー
パイズリトルソーは、腕を動かすことができません。ですので、お客様ご自身がお動きになり、お楽しみください。
雌豚の表情や反応を変えたいときは、ローターの遠隔スイッチをオンにし、ま○こを刺激してください。
ん…っ
パイズリの場合コンドームは必須ではありませんので、雌豚に顔射をすることもできます。
シュッ
シュッ

パイズリトルソー
ドピュッ
「あん・・・♥　こんなに濃いのがいっぱい♥
もっと出してぇ♥　ぶっかけて欲しいのぉ♥」
トルソーにされる雌豚は、性的刺激を
肯定的に捉えるよう躾けられています。
リップサービスやおねだりもできて、
他の雌豚とは違った楽しみ方があります。
トルソーとの性行為を
ご所望の場合は、
係員に申しつけていただくと、
別料金で承ります。
あん
ドピュッ
ドロォ

スケルトン触手ボックス

強化ガラス張りの触手ボックスでは、たっぷりの触手が
飼育されています。
朝、開館前になると雌豚が連れてこられ、中に入れられます。
強化ガラス張りなので、ガラスを割って逃げる心配もありません。

中に入れる雌豚は基本的には一人ですが、
美術館によっては巨大な触手ボックスもあり、
複数の雌豚を一度に箱に入れることがあります。
そういうものは触手水槽と呼ばれています。

触手達は雌豚の体液を主食としており、
主に愛液を取り込んで栄養とします。
そのため、雌豚のま○こに潜り込み、愛液を分泌
させようと中で暴れます。
触手に入り込まれた雌豚は、1日中触手達に給餌し、
イキ続けることになります。

触手ボックスに入れられた雌豚の負担は大きいため、
雌豚たちは日替わりで展示されています。
その他に、逃亡を図った、展示としての役割を
果たせなかった、などの懲罰としても
この箱が用いられます。

埋め込み絵画

『雌豚美術館』へようこそ。
この美術館では、生きた雌豚たちを展示しております。
入り口に最も近い展示は、壁に埋め込まれた雌豚
絵画です。

ガラスの向こうの雌豚たちは、性感帯に
玩具を取り付けられ、お客様のおいで
をお待ちしています。

額縁の横にはスイッチが取り付けられ、
玩具を自由に作動させることができます。

入
切

作品名
汁吹く女

埋め込み絵画

ブブブブ・・・

「あっ！　あっ！　イクッ・・イキますうぅっ！！
止め・・・止めて・・・っ！　またイッちゃ・・・あぁん！」

雌豚はガラスに潮を吹きかけ、痴態を晒します。
しかし、ほとんどの場合、お客様は
スイッチを切らずにそのまま次の展示に
移動されるので、雌豚は1日中
イキ続けることも珍しくありません。
中には、失神した雌豚を見ようと、
わざわざ閉館間際に来られるお客様も
いらっしゃいます。

入

切

作品名
汁吹く女

彫像

雌豚美術館の彫像は生きています。身体に石膏を塗られた雌豚が、それぞれにポーズをとって展示されています。

雌豚たちは、決められたポーズで居続けないと、
罰を与えられてしまいます。
なので、身動きをしないよう
必死に耐えているのです。

お客様は、彫像に触って
刺激を与えることは
できません。
しかし、彫像たちには、
それぞれに玩具が用意
されていて、その責めに
堪えなくてはなりません。

像

この彫像には、ま〇こバイブマシンが取り付けられ、
開館から閉館まで、ずっとま〇こを犯され続けます。
しかし、身動きをしてはいけません。

快感に堪えるその痴態が
この彫像の芸術たる所
なのです。

スイッチはリモコン式に
なっており、台の周囲に
置かれています。
お客様は、そのリモコンを
弄り、入り切り、強弱を
選択できます。

もし雌豚が失神したり、
ポーズを崩した場合、
係員を呼んでください。
係員が雌豚を拘束し直し、
同じポーズを強制的にとらせます。

そして、雌豚は、翌日にでも厳しい
罰を受けることになります。

彫像
ズプッ、ズポッ
「んんんっ！！」
ビクビクッ
「すげー汁出てんじゃん。
そんなに気持ちいいんだ？
じゃあ、次は強にしてやるよ」
「まっへ！
らめ･･らめっ！！」
ジュポジュポジュポ･･･
「んぐうぅっ！！！」
お客様がスイッチを強に
したまま立ち去られる
事が多いので、
ほとんどの彫像は
閉館までもたず、
体勢を崩してしまいます
最近では懲罰のための
設備が足りず、増設が
計画されています。
※雌豚の懲罰については
後述いたします。
んんんっ!!
ビク
ビク
ブル
ズプッ
ズポッ
ブル

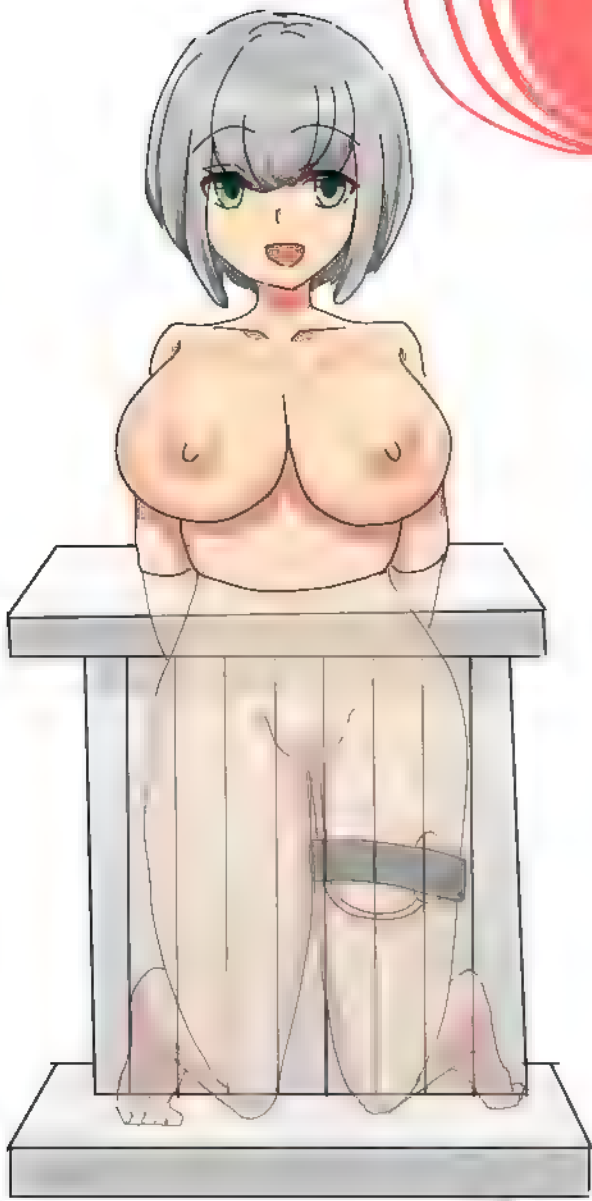
パイズリトルソー

彫像に類似する展示として、
上半身のみのトルソーがあります。
人間の肌の温かみを残すために、
石膏は塗られていません。

上半身のみのトルソーは体験型となっており、
パイズリ用となっています。
無料のローションを使い、雌豚の豊かな
胸の感触を味わうことができます。

中にはフェラチオができる
トルソーもありますが、その場合は
コンドームの使用が必要です。

トルソーにされる雌豚は特に従順な
ものを選んでいるので、嫌がったり
反抗する心配はありません。

パイズリトルソー
パイズリトルソーは、腕を動かすことが
できません。ですので、お客様ご自身が
お動きになり、お楽しみください。
雌豚の表情や反応を変えたいときは、
ローターの遠隔スイッチをオンにし、
ま〇こを刺激してください。
パイズリの場合コンドームは
必須ではありませんので、
雌豚に顔射をすることも
できます。
ん…っ
シュッ
シュッ

パイズリトルソー
ドピュッ
「あん・・・♥　こんなに濃いのがいっぱい♥
もっと出してぇ♥　ぶっかけて欲しいのぉ♥」
トルソーにされる雌豚は、性的刺激を
肯定的に捉えるよう躾けられています。
リップサービスやおねだりもできて、
他の雌豚とは違った楽しみ方があります。
トルソーとの性行為を
ご所望の場合は、
係員に申しつけていただくと、
別料金で承ります。
あん
ドロォ
ドピュッ

スケルトン触手ボックス

強化ガラス張りの触手ボックスでは、たっぷりの触手が
飼育されています。
朝、開館前になると雌豚が連れてこられ、中に入れられます。
強化ガラス張りなので、ガラスを割って逃げる心配もありません。

中に入れる雌豚は基本的には一人ですが、
美術館によっては巨大な触手ボックスもあり、
複数の雌豚を一度に箱に入れることがあります。
そういうものは触手水槽と呼ばれています。

触手達は雌豚の体液を主食としており、
主に愛液を取り込んで栄養とします。
そのため、雌豚のま○こに潜り込み、愛液を分泌
させようと中で暴れます。
触手に入り込まれた雌豚は、1日中触手達に給餌し、
イキ続けることになります。

触手ボックスに入れられた雌豚の負担は大きいため、
雌豚たちは日替わりで展示されています。
その他に、逃亡を図った、展示としての役割を
果たせなかった、などの懲罰としても
この箱が用いられます。

スケルトン触手ボックス

触手ボックスに入った雌豚は、まず触手達による
前戯を受けます。
身体中を優しく愛撫され、徐々に興奮していきます。
しかし、中にはグロテスクな触手を恐れる雌豚もいるため、
効果には個人差があります。

呼吸ができるように顔だけボックスから出ているので、
雌豚の表情をしっかり鑑賞することができます。

触手達は人肌ほどの体温があり、表面からは滑りをよく
する粘液が分泌されるので、挿入するときも痛くありません。

雌豚の準備が整うと、触手達はま〇こに入り込み、
抜き差しや振動を始めます。

雌豚の反応に合わせ、最も効果的な責めを試行錯誤する
ので、雌豚は必ず耐え切れずにイキ始めます。
一度雌豚の急所を突き止めると、触手達は容赦なく
弱い場所を責め続け、雌豚を死ぬほど泣き喚かせます。
ですので、触手ボックスが置かれた部屋は、ひときわ
防音設備がしっかりと備わっているのです。

スケルトン触手ボックス

クリクリクチュクチュ
「あっ、あうっ！　イクっ！　イクぅっ！！
そこだめっ・・・そこ・・・弱いのぉっ！！
ひぃっ・・・だめっ・・・こんなのっ・・い、一日中
・・・もっ、持たないよぉっ！！」
「いい顔すんじゃん。ほら、笑って～w」

雌豚美術館は本来撮影禁止です。
しかし、一部の展示については撮影が許されています。
この触手ボックスも、そのうちの一つです。
一緒に写真を撮ってSNSに上げてもいいですし、
ホームページなどに写真をアップしても結構です。

もし一緒に写真を撮りたいご希望の雌豚が
おいでの場合は、事前に連絡をいただくか、
雌豚の展示の日程を前もってお知らせします。

※触手ボックスの雌豚に直接触ることは
禁止されていますので、ご注意ください。
※ボックスを叩いたり、フラッシュを用いて撮影する
等の行為は触手を驚かす恐れがあるのでご遠慮ください。
触手が激しく雌豚を責め立てます。

壁穴ま〇こオブジェ

雌豚美術館の壁には、雌豚オブジェが設置
されています。
上半身だけの物や、下半身だけのものが多い
ですが、中には顔から膝にかけてのオブジェの
場合もあります。

壁穴オブジェは体験型となっており、
玩具やお客様の男性器を使用して雌豚で
遊べるようになっています。
※コンドームはお近くの販売機でお求めください。

入館チケットをもって利用券とさせていただきます
ので、重複して料金をいただくことはございません。
利用回数に制限はございませんので、
お客様がご満足いただけるまでご利用ください。

※雌豚を汚す、破損する、逃がす、等の
行為を意図的に行った場合、
次回のご入館をお断りする場合が
ございますので、ご了承ください。

壁穴ま〇こオブジェ

「オラオラオラ、気持ちいいんだろ？
中に出してやっからよ！」
「ひっ！　ひぐっ！　あはっ・・！　いっ・・・
イッちゃうぅ・・・っ！！」
「ははは、壁の向こうでアヘ顔晒してんだろ！
見えないってのがかえって興奮するぜ！」
「あっ！　あうぅっ！　たぁっ・・

雌豚とのコンドームなしでの性行為は、
感染症の危険性があるので控えましょう。
壁穴にする雌豚は検査され健康なものに
限られていますが、ご利用されるお客様
については検査を実施しておりません。
※罰則はございませんが、お客様
ご自身のためにも、コンドームの
使用は厳守してください。
万が一当館でご病気等に感染され
た場合も、保証はしておりません。

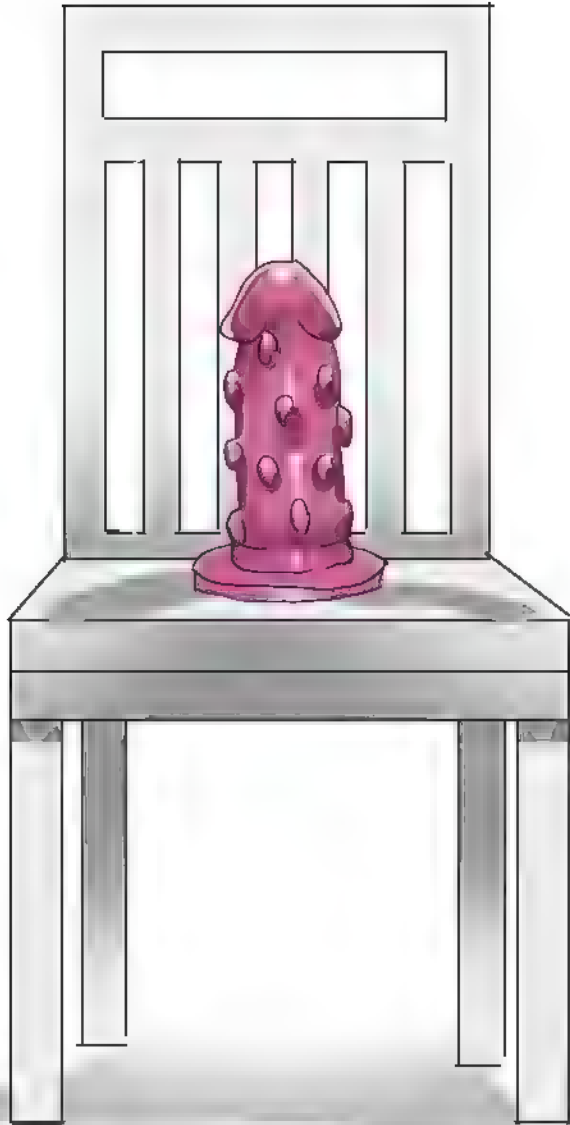
ま○こトーテム

ま○こトーテムは、その名の通り、ま○こを縦に並べた展示です。
雌豚の表情が見えない分、想像が膨らみ、一味違った興奮が味わえます。
手前に置かれた台には、あらゆる玩具が取り揃えられ、拡張からバイブ、
アナルビーズなど、様々な責めを体験していただけます。
※持ち込みの玩具はご遠慮ください。

まOこトーテム

まOこトーテム

ズポズプヌポズチュ　ブシュッ　ガクガクガク
雌豚がいくら壁の向こうで喚こうと、防音がしっかりしているので聞こえません。
ですが、その分身体の反応をじっくりと鑑賞することができます。
顔が見えない分、容赦のない責めになることが多々ありますが、雌豚もしっかり拡張されているので、問題ありません。
思う存分雌豚のまOことアナルを責め立て、悶えさせましょう。

体験型巨根椅子

雌豚美術館の体験型展示には、雌豚が設置されていないものがあります。
それがこの体験型巨根椅子です。

お客様ご自身がお連れの彼女、奥様等を座らせ、雌豚気分を体験させるという展示になっております。
もちろん、着衣のままでもご利用いただけますが、雌豚気分をより味わうために、全裸でのご利用をお勧めしております。

ただし、相当巨大なディルドとなっておりますので、決して無理はなさらないようお願いいたします。
怪我をされても、保証は致しかねます。

ローションは無料で提供しておりますので、ご入用のお客様はお近くの従業員にお声をおかけください。

写真の撮影もご自由にしていただけます。

体験型巨根椅子

ゴリュッ、ゴッ、ゴッ
「ひぎぃっ！！！　ぬっ、抜けない･･･っ！！
お、お兄ちゃ･･･助け･･･たっ、立てな･･･
やだよぉっ！」
「お、見ろよ、こんなところにも雌豚がいるぜ」
「ちが･･･わ、私、雌豚じゃ･･･お、お兄ちゃんっ
･･･も、戻って来てぇっ････だ、だれか助け･･･」
「うるさい雌豚だなぁ。あ、これ撮影自由なんだ。
写真撮ろうぜ～w」

雌豚がもがいても、この巨根ディルドからは
自力で逃げられません。むしろ、もがくほどに
抜き差しを繰り返すことになり、何度もイッて
しまいます。

放置したままその場を離れると、他のお客様から
雌豚の展示と間違われて悪戯をされることが
あるので気を付けましょう。

「写真をSNSで拡散され社会的損失を被った」
等のトラブルが発生しても、本館は責任を
持ちませんのでご了承ください。

吊り下げオブジェ

その名の通り、天井から吊り下げた
雌豚のオブジェです。

雌豚のポーズは様々ですが、
特徴的なのは、ま○こやアナルに
大きなフックがかけられ、
吊り下げられる点です。

フックはずっとかけられている
わけではなく、午前中9時から11時、
午後14時から17時までの間です。
これは、雌豚のま○こやアナルへの
負担を考えての時間割となっております。
美術館によっては、フックの先がバイブや
ディルドになっていて、震動や抜き差しを
繰り返すものもあります。

吊り下げられた雌豚は、床から1～3メートルの高さであることが多く、
お客様が手を触れて雌豚を責めることもできます。
しかし、中には雌豚に乗ったり、強く床に引っ張ったりして雌豚のま○こやアナルに
負担をかけようとするお客様もおられますが、雌豚の破損の原因となりますので、お断りしております。

吊り下げオブジェ

グググ、ツプ･･･グリッ
「ひっ！　いやあっ！！」
ググ、グイィッ
「ひうぅっ！　やっ･･･く、苦し･･･
息･･で、できな････っ！！」

時間になると、フックが雌豚の穴に
入り込み、深く挿入されます。
腸に届くほどの深さまで入るので、
雌豚は必ず悲鳴をあげます。
その後、フックはグイッと上に
引っ張られ、雌豚はま〇こやアナルで
体重の半分以上を支える形になります。

雌豚によっては、これだけで興奮し、
潮を吹いたりイッたりします。
背後に立つと飛び散る可能性があるので、
少し離れたところで見ると良いでしょう。

吊り下げオブジェには、鞭打ちやローターのオプションがある美術館も多いので、
販売機でお求めいただき、ご使用ください。

二穴差しオブジェ

吊り下げ展示の一種としてスタンダード
なのが、二本差しのオブジェです。
文字通り、アナルとま○こ両方に玩具を
挿入する展示です。
体験型なので、お客様が持参されたもの
や当館でお求めになったものを差し込む
事ができます。

巨大ディルドや、バイブ、変わり種では、
キュウリやバナナ、ペンライトや瓶なども
挿入されることがあります。

※雌豚の感染症の危険があるので、
差し込むものにはコンドームを被せて
ください。

指や手で直接刺激することもできますが、
その場合、無料で提供している薄手の
ゴム手袋で手を保護してください。

二穴差しオブジェ

ブブブブ・・・
「ひぃっ！　おっ！　おっ！　イクうぅっ！
ぬっ、抜いてっ！！　イキたくないぃ！」
「はっ、まだ1時間しかたってないだろ。
閉館まであと5時間ある。ずっと差し
といてやるから遊んでろよ」
「やあぁっ！　ゆるしてぇぇっ！　イクの
いやあああぁっ！！」

雌豚は悲鳴を上げ、もがきますが、
拘束は頑丈なので外れる心配は
ありません。
失神した場合は水をかけて意識を
戻させ、興奮を高めるために媚薬を
打ちます。

この展示は写真撮影が許可されて
いますので、お客様ご自身でお持ちに
なった玩具を差して、一緒に
写真撮影をされるのも楽しいでしょう。

入

切

作品名
汁吹く女

作品名
汁吹く女

ま○こトーテム

ま　こトーテム